



にゅうようせ

乳幼セだより

R5. 8 No. 3

山口県
 乳幼児の育ちと学び支援センター
 ☎083-933-4450
 ✉a50908@pref.yamaguchi.lg.jp



保幼小連携の充実をめざして



山口県では、小学校教員が1年間保育所や幼稚園、認定こども園で乳幼児期の教育及び保育について研修する「幼児教育・保育長期研修」という制度を平成16年から行っています。今までにこの研修を受けた教員は76人！学んだ成果を小学校低学年での指導に活かしています。今年度は、保育所1園、幼稚園1園、認定こども園1園に御協力いただき、3名の研修生が日々幼児教育・保育について気付き、学んでいます。園で学んだことを通信等で発信するだけでなく、県主催の研修会で事例発表を行ったり、カリキュラム案を作成したり等、連携の推進役として様々な場面で活躍しています。

また、昨年度末には保幼小連携の“いっぽ”となるように、リーフレット「はじめのいっぽ」を作成しました。山口県内の保育者が作成したイラストを掲載し、保幼小連携の大切さが一目でわかるよう工夫しております。また、「つながる」をキーワードに保幼小連携を3つのSTEPに分けて掲載しております。実情に応じて、取り組みやすいものから始めてみてください。各園・所にも郵送いたしました。研修会等で使用したいなど部数が必要な際は、乳幼セまでお電話ください。また、Web ページにも掲載していますので、御自由にダウンロードしてください。



乳幼セコラム
いっぽ

ゲーム依存(インターネット・ゲーム障害)という言葉聞いたことがありますか？

スクールソーシャルワーカー 中村 圭子

アルコール依存症やギャンブル依存症等と同じ依存症として、この数年メディアでも盛んにこの問題が取り上げられるようになりました。精神科医療機関でも相談件数が大幅に増えている病気です。

依存とは、快感、多快感、楽しさなどを追い求める行動がエスカレートし、やがてその行動をコントロールできなくなる状態です。その行動がエスカレートすることで、健康、家族、学業・仕事等へも多大な影響が出てきます。

ゲーム依存は、若い世代で多く、ネットやゲームの使用時間や頻度がエスカレートしていくと、生活の中での優先順位が上がっていき、ネット・ゲームが生活の中心になっていきます。社会生活や日常生活に様々な支障(遅刻・欠勤、成績の急落、昼夜逆転)が出て、行動を自らでは変えることができなくなっていくます。

乳幼児への影響では、子どもをあやすのにアニメ動画を見せるという場面がありますが、1~2歳から何らかのメディアに触れていることになり、子どもは保護者の見よう見まねで1歳半程度の子どものでも、保護者の携帯でYouTubeのアニメを検索するという行動をします。メディアに触れる年齢が早いほど依存症になりやすいとも言われています。忙しい保護者にとって、子どもが泣かずにいてくれる動画を見せることが一概に悪いとは思いませんが、そればかりに頼らず、子どもがリアルな体験に触れられる機会を増やすことが重要です。



乳幼児の育ちと
 学び支援センター
 Facebook
 @nyuuyouse

乳幼児の育ちと
 学び支援センター
 Web ページ



荒天の場合の対応について

令和5年度も4か月が過ぎ、暑い夏がやってきました。

これから台風シーズンに入ります。対面での研修会当日に、荒天が予想される場合の対応方法をまとめましたのでご一読ください。

荒天が予想される場合の対応について

荒天(大雨、大雪、台風、暴風等)が予想される際には、開催の有無を**研修前日の正午**までに乳幼児の育ちと学び支援センターWeb ページ「研修の中止・変更等に関するお知らせ」及びSNS (Instagram、Facebook) に掲載します。受講者への個別の連絡は行いませんので、各自で御確認ください。

なお、研修会場への安全な往來が困難な状況や園での対応を優先する場合は、所属長の判断により、受講者の出席を見合わせることも御検討ください。

